

水泳授業における追加事項について



<水着について>

- セパレート（上下分かれているもの）や、パンツ型のもので可。ビキニタイプは禁止です。
- ラッシュガードは可。色は水着の規定に準ずるものとする。フードなし。
- ゼッケンの必要はありませんが、名前は中のタグなどに必ず記入し、自分の物と分かるようにしておいて下さい。

<水泳帽について>

- 色は自由ですが、柄物などは禁止です。
- ゼッケンや水泳帽に名前を書く必要はありません。名前は中のタグなどに必ず記入し、自分の物と分かるようにしておいて下さい。
- なお、小学校のものを使用する人で既に名前を記入している場合は、それでも構いません。

<サンダルについて>

- ビーチサンダルやクロックスなどでも構いません。華美な飾りがついている物や、ヒールは禁止です。

<マスクケースについて>

- マスクを清潔に管理するためのものです。
- ケースには名前を必ず記入してください。

<プールバックについて>

- 更衣後の水着など濡れたものを入れるために使用するので、ナイロンなど防水素材の物を推奨します。

水泳授業のマナー・注意事項について

- 前日は早めに寝るように心がけて下さい。
- 見学する場合は、普段の授業と同様で保護者から生徒手帳に事情を記入してもらって下さい。ただし、授業前に少しでも体調が悪い時は無理をせず、まずは先生に相談し、見学してください。（熱っぽい、目が赤い、お腹の調子が悪いなど）
- 爪は事前に短く切っておきましょう。
- 水泳前は、鼻をかみ、トイレを済ませておいて下さい。
- 傷テープやテーピングなどのテープ類や湿布などは、水中ではがれたりする恐れがあるので、衛生上あまり好ましくありません。事前に外しておきましょう。難しい場合は事前に先生に相談して下さい。
- シャワーは全身しっかり浴びましょう。（授業中にトイレに行った場合も再度浴びてもらいます）
- プールサイドやプール内では、ふざけたりいたずらしたり乱暴な行為を絶対にしないでください。飛び込みも禁止です。授業でも行いません

**大きな事故につながることもあるので、必ず先生の指示に従って、行動すること！
マナーを守って、安全に楽しく水泳授業に取り組もう！**